

CLIL 工学系・高専大学

1. 工学系のグローバル人材育成プログラムにおけるCLIL活用

徳山工業高等専門学校

天内和人
高橋愛

* Curtis Revis



背景①

社会のグローバル化と情報化

ビジネスや科学の分野にとどまらず技術の世界へも広がる

国際的に通用する技術者の育成が課題

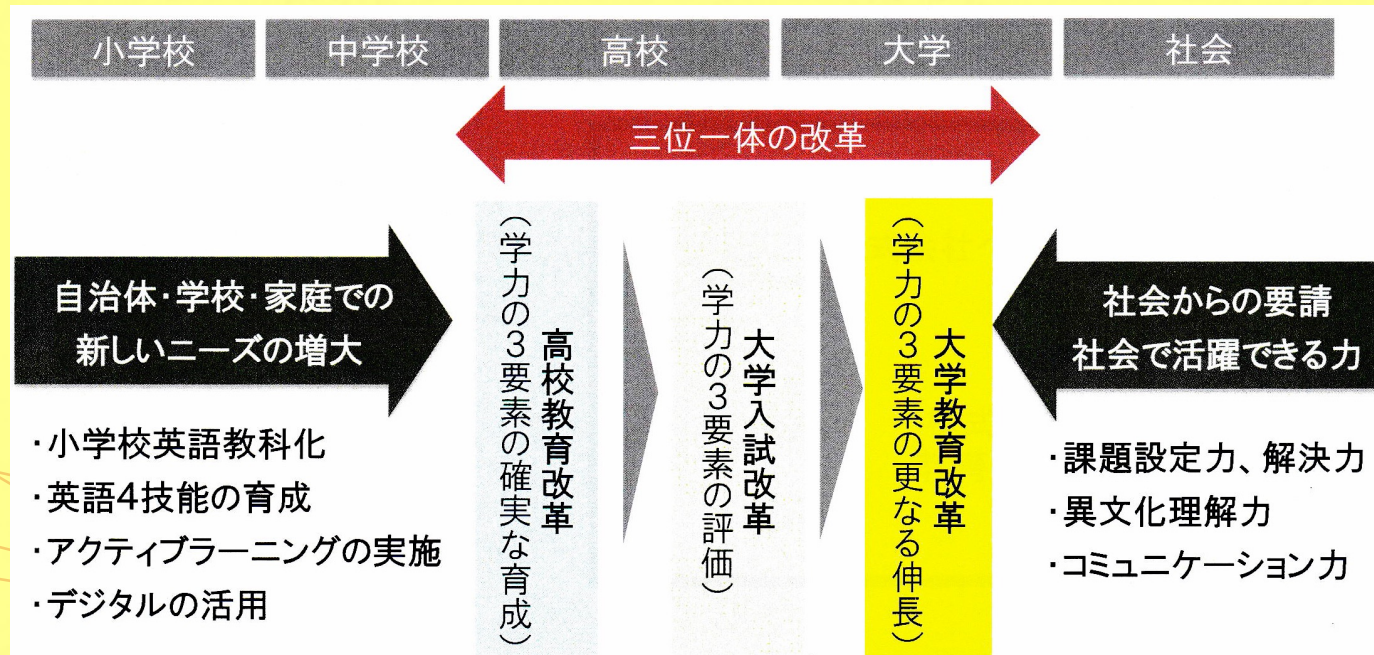
- 日本人技術者は技術力やチームワーク力が高い
- コミュニケーション能力、特に英語力の評価が低い

技術者が必要な英語 4 技能の育成が必須

背景②

高大接続改革（三位一体の改革）

自ら課題を発見し、他者と協働し、答えを作り出す力を持つアクティブラーナーの育成、そこから逆算した教育



大学入試改革

- 新テスト導入
- 大学入試問題内容の変化
- 外部英語検定試験の入試活用
- 多面的総合的入試

学習指導要領

- 知識・技能習得と思考力・判断力・表現力の育成のバランスを重視
- 言語活動の充実
- 理数教育の充実
- 英語 4 技能指導の充実

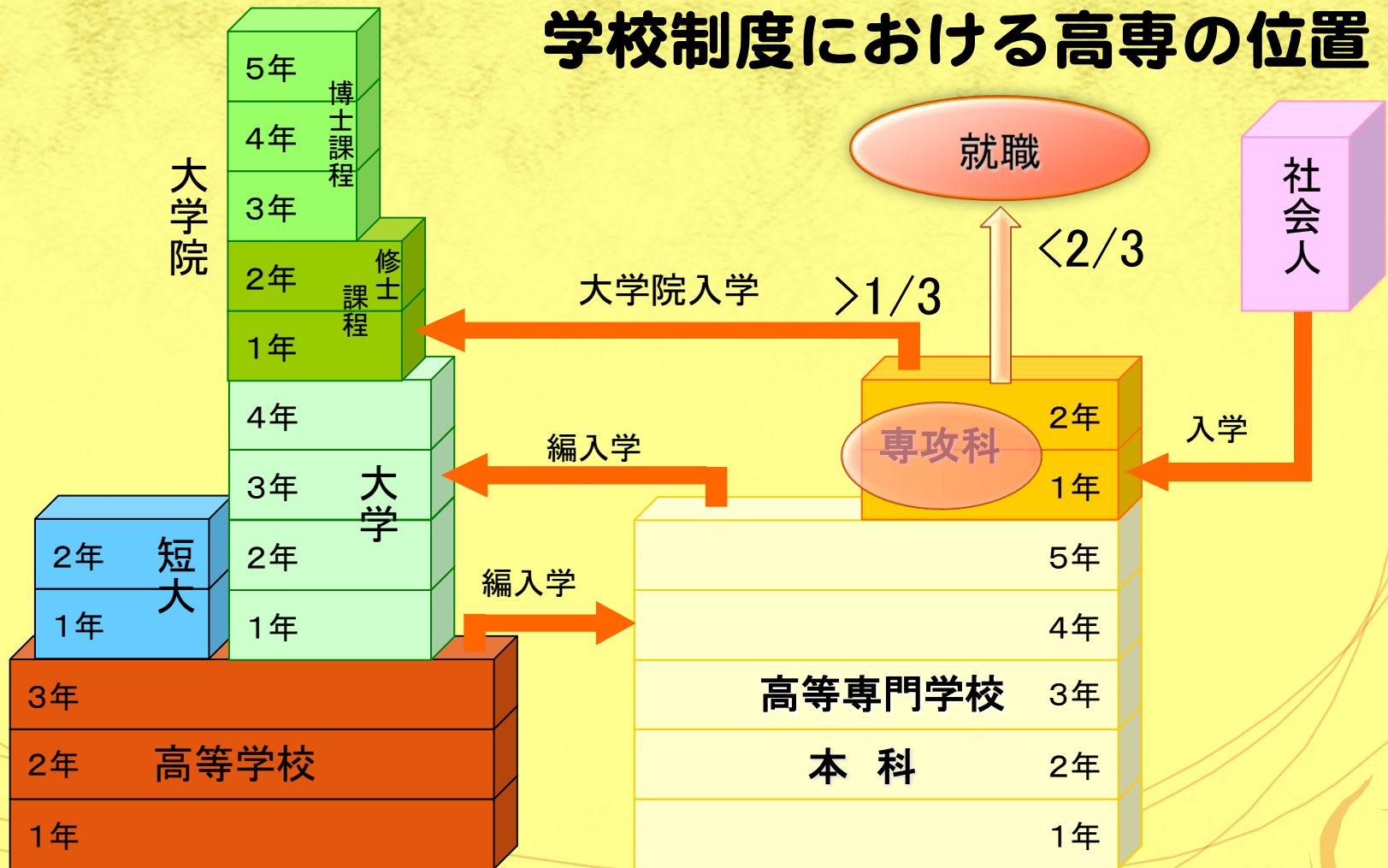


高校の指導の変化

- 探求型学習
- アクティブラーニングの充実
- 英語 4 技能指導の充実

背景③

学校制度における高専の位置



三位一体の高大接続改革からは外れているが..

高専における教育改革

モデルコアカリキュラム（MCC）の策定 平成29年4月28日

「技術者が分野共通で備えるべき基礎的能力」
「技術者が備えるべき分野別の専門的能力」
「技術者が備えるべき分野横断的能力」



各能力を9能力分野に細分化

英語

- 英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、実際の場面での英語の使用に役立てることができる
- 相手と**英語コミュニケーション**を図ろうとする態度や**異文化を理解しようとする姿勢**を身につけ、実際の場面での英語の使用に役立てることができる
- 日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の**的確さ、流暢さ、即応性**をもって内容を聴解、**読解、伝達**できる
- 社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、**内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換**ができる

グローバル高専事業

平成26年度：明石高専、茨城高専

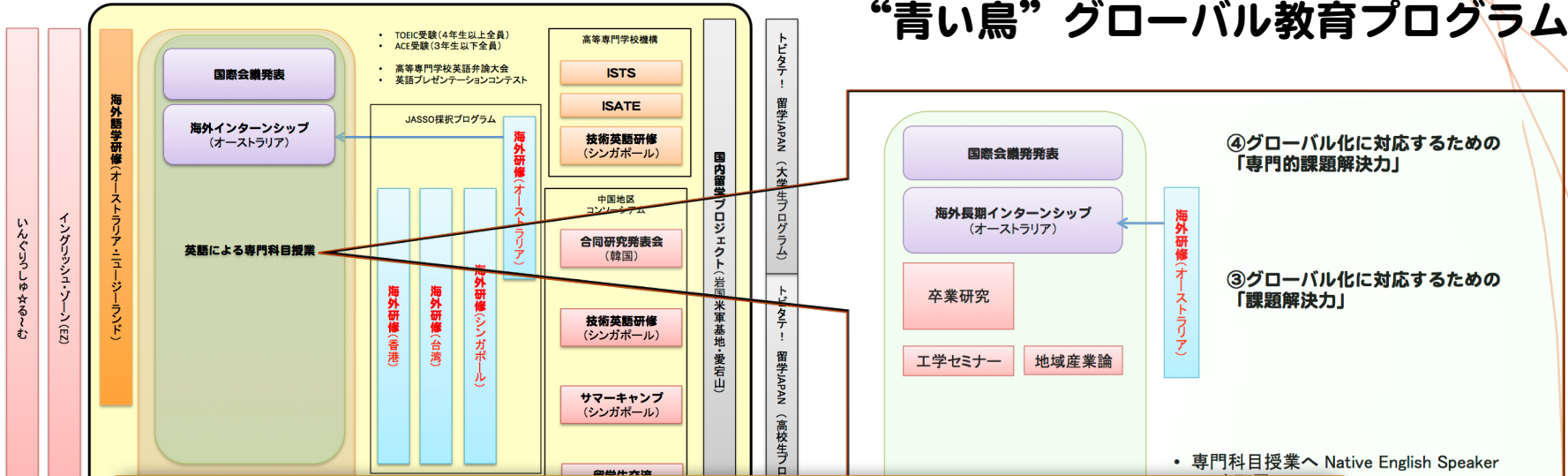
平成28年度：拠点型（八戸、福島、岐阜、津山、鹿児島）
展開型（徳山、熊本）

高専における英語教育の裾野拡大及び高専生の英語運用能力のベースアップ

中学校における英語教育と高専における技術者として必要な英語教育との円滑な接続を行うプログラムの開発・実践を行う

*赤字:平成28年度JASSO支援採択プログラム

“青い鳥” グローバル教育プログラム



授業へのスムーズな英語導入方法として CLIL及びICTの併用

